



Peace
Through Service

Sakuji Tanaka
Rotary International President
2012-13

Governor's Monthly Letter

ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2550

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区

APRIL
2012-2013

Vol.10

<http://www.rid2550.com/>

ガバナーメッセージ

第2550地区ガバナー 鈴木 宏



いま“変貌するロータリー”を感じているのは、私だけでしょうか？

“ロータリー・クラブは人道的奉仕活動の世界的ネットワークを構成する一単位”と声高らかに国際ロータリーが宣言した時、思い出したのは1948-49年度RI会長Angus S. Mitchellの“ロータリーは天の星をかきまぜるのではない。足下の石を拾うのだ。”という詭弁でした。これは、ロータリー創立50周年を1954-55年に迎え、それを記念して第60・61地区連合での地区大会が京都の岡崎勤業館で開催された時の彼の基調講演での言葉です。

“ロータリーの目的”を頭で描き、同時に感性のみで体が動いているような、心と体がバラバラな滑稽な動きをしている巨人のように思われる“変貌したロータリー”が“ヘーゲルの弁証法での螺旋的発展”でいうところの対極に“決議23-34の頃のロータリー”があるように感じているのは、私だけでしょうか？

“ヘーゲルの弁証法での螺旋的発展”とは、道教で云われるところの“陽極まれば陰、陰極まれば陽”と同じ現象の繰り返しです。全ての物事には、その内部に“矛盾”が含まれています。その“矛盾”こそが物事の発展の“原動力”となっていきます。そして、この“矛盾”を機械的に“解消”するのではなく弁証法的に“止揚”した時に、物事は発展を遂げます。この転化の一定基準は何かといいますと“キーワードが忘れられた時”です。歴史的にロータリーが大いに変貌を遂げた時こそが、初期ロータリーの完熟期—“決議23-34”の時代に戻っていくベクトルの始点となると思います。そこには、必ずや“新しい価値”が付く筈です。そして、心の中に壮大なこの“矛盾”を把持しながら、その“矛盾”と対峙し格闘し続けるという勇気が今私たちの仲間にとって必要とされている大切なこととと思っています。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
新入会員紹介	2
宇都宮女子校「白百合インターアクト・クラブ」 認証状伝達式	3
2月会員増強・出席報告	4
文庫通信	4
ロータリーコミック (初期ロータリーを顧みて)	16~5

News

主要行事 **ロータリーレート/1\$=94円**

4月 6日(土)	足利ロータリー・クラブ 60周年記念式典
4月 7日(日)	第2回会長幹事会
4月 14日(日)	地区協議会(飯村年度)
4月 20日(土)	宇都宮陽東ロータリー・クラブ 20周年記念式典
4月 21日(日)	氏家ロータリー・クラブ 50周年記念式典
4月 21日(日)	ロータリー財団研究会(飯村年度)
4月 21日(日)	2013年度米山奨学生オリエンテーション
5月 9日(木)	12-13 GSE派遣チーム 出発 ~6/5まで。

ロータリーは、“単なるご奉仕団体”と化したのでしょうか？いま、ロータリアンは改めて“ロータリーの目的”を、そして私たちが何故にロータリーに参加しているのかを確認しなくては、“ロータリーの魅力”も“魅力あるロータリー・クラブ”も中身の無い無意味なものになってしまうように感じるのは私だけでしょうか。

話を元に戻しますが、この“天の星”とは何を意味しているのでしょうか？

“天の星”とは、1915年サンフランシスコの大会で採択された“全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓”そのものを示していたのではないかと思います。私たちは、毎週開催される例会に参加して“天の星”すなわち“職業人のあるべき姿”を追い求めながら“サービスの理念・自分の良心に誠実に、そして相手を思いやる心”を身に付けていきます。そして、例会が終わるとその心を持って“足下の石”すなわち家庭円満・職業倫理・地域社会貢献等に情熱をもって謙虚に誠実に実践していくことにより“自らの心を磨き”、益々“より美しい天の星”を見ることが出来るよ

うになっていくのではないのでしょうか。そして、“天の星を目指していくこと”と“足下の石を拾うこと”が循環し“個人の浄化”を促す自転運動になることが大切なことと思います。これこそが“理想とするロータリー運動”ではないのでしょうか。

私ならば“ロータリーは天の星を目指し、決して辿り着くことはないかもしれないが、その心を持って足下の石を拾いながら自らの心を磨き、再び天の星を目指して共に歩いていこうぜえ～”と云っていたと思います。

そして、会員一人ひとりが“地域社会に生きる人たちの生活を改善”して行きたいという思いを持って実践して行く“誠実な職業活動”こそ、ロータリーの“公共イメージ向上”の最も側近にあると理解しています。

最後に“天は人の上に人を造らず。人の下に人を造らず”の心を持って、まずはクラブが第一！地区の存在意義は“より元気なクラブ”への支援のみ！と心を新たに、残された日々をガバナーとしての任務に邁進していこうと思っております。クラブ会長・幹事の皆様も心新たに、後3か月をお過ごしください。

新入会員紹介



たじま だいき
田島 大
(栃木RC)

株式会社 カシワヤ
代表取締役
平成25年1月9日 入会

よろしくお願いたします。



ほそや あきら
細谷 覚
(真岡西RC)

株式会社 三成ホーム
代表取締役
平成25年2月1日 入会

「超私の奉仕」を目標に頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



りょうじ しゅん
留目 学
(鹿沼中央RC)

有限会社 開盛堂
専務取締役
平成25年2月1日 入会

まだ、40才という若さで、将来の鹿沼中央RC背負っていく人材です。



しだら みつえ
設楽 光江
(鹿沼東RC)

株式会社 シダラ
代表取締役
平成25年2月6日 入会

良き出会いに感謝申し上げます。どうぞご指導よろしくお願いたします。



みやもと けんいち
宮本 健一
(宇都宮西RC)

近畿日本ツーリスト 株式会社
宇都宮支店 支店長
平成25年2月14日 入会

ご指導の程、よろしくお願致します。



はりがい たかゆき
針谷 隆之
(宇都宮RC)

サイクルショップ
ビチステンレ 代表
平成25年2月28日 入会

私は自転車を通じて宇都宮の発展健康増進にお役に立てればと思っています。



まつしま えいじ
松島 邦夫
(宇都宮北RC)

有限会社 千草園
代表取締役
平成25年3月7日 入会

御縁有りまして、入会することになりました。今後ともよろしくお願いたします。



平成25年1月26日（土）、栃木県立宇都宮女子高等学校において栃木県内では15番目の「白百合インターアクト・クラブ」が設立され、鈴木宏ガバナーから初代会長を務める石川紫音さんに認証状が伝達されました。スポンサークラブは、宇都宮ロータリー・クラブです。認証状伝達式と祝賀会には、佐藤栄一宇都宮市長をはじめ、ロータリー関係者約40名、他校のインターアクト・クラブから約40名、学校側から7名、そして白百合インターアクト・クラブ創立メンバーの23名が出席しました。

宇都宮女子高の生徒は「白百合よ、貴きをめざせ」のローガンのもと、宇都宮市操町で学園生活を送っています。インターアクト・クラブ名の「白百合」は、宇都宮女子高の校章のマドンナリリー（白百合）に由来しています。マドンナリリーは、母校への高い誇りと深い情熱を胸に抱く宇女高生の魂の象徴とされています。今後、宇女高生の「貴きに憧れる」精神でインターアクト・クラブの一員としての活動が

期待されます。また、過去には2550地区の青少年交換プログラムにおいても、宇女高の生徒が大勢海外に派遣されています。

白百合インターアクト・クラブの誕生に至るまでには、次のような背景がありました。そもそも2012年に宇都宮ロータリー・クラブ60周年の記念事業の一環として発案されたものですが、たまたま宇女高の田中校長先生が、黒磯高校の教頭時代に黒磯高校でのインターアクト・クラブ立ち上げに携わった経験をお持ちで、今回もご尽力をいただきました。特に佐野教頭先生、クラブ顧問の伊勢野先生、野城先生ほか学校関係の方々には、一方ならぬご協力をいただきました。また、宇女高同窓会の操会・前会長の石島京子顧問にもご指導いただいた賜物です。

最後に、初めて宇都宮女子高の校内に足を踏み入れたという佐藤市長ならびに多くのロータリアンの皆様へ感謝すると共に、今後とも宇都宮女子高「白百合インターアクト・クラブ」を温かく見守っていただきたいと思います。宇都宮ロータリー・クラブの喜谷会長、高山実行委員長ほか宇都宮ロータリー・クラブの皆様、本当にご苦労様でした。



国際ロータリー第2550地区 2月会員増強・出席報告

分区分	クラブ名	2月出席率			会員数							内女性会員	分区分	クラブ名	2月出席率			会員数							内女性会員	
		例回数	今月	平均	7月日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減				7月日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減					
第1グループ	大田原	3	83.33	87.65	32	33	0	0	2	1	1	2	第5グループ	小山	4	91.40	91.65	34	35	0	0	2	1	1	0	
	黒磯	4	79.50	89.53	42	40	0	0	0	2	-2	2		小山南	4	94.44	91.61	20	20	0	0	0	0	0	3	
	西那須野	4	83.55	87.37	37	38	0	0	1	0	1	0		小山東	4	90.63	91.41	32	32	0	0	0	0	0	0	
	黒羽	4	95.31	95.90	16	16	0	0	0	0	0	1		小山北	4	72.90	78.79	24	24	0	0	0	0	0	0	
	那須	4	65.96	78.48	12	12	0	0	0	0	0	2		小山中央	3	57.00	73.73	21	21	0	0	0	0	0	1	
	塩原	4	67.85	69.64	8	7	0	0	0	1	-1	0		第6グループ	栃木	4	81.45	73.66	34	34	0	0	2	2	0	1
	大田原中央	3	48.00	63.98	28	27	0	0	0	1	-1	2			栃木西	4	84.45	84.46	32	32	0	0	1	1	0	0
第2グループ	鳥山	4	93.80	95.83	12	11	0	0	0	1	-1	1	第7グループ	壬生	3	76.47	84.84	17	17	0	0	0	0	0	2	
	氏家	4	83.33	93.50	25	25	0	0	1	1	0	0		栃木南	4	82.50	85.01	30	31	0	0	1	0	1	5	
	矢板	4	68.72	70.25	23	19	0	0	0	4	-4	4		日光	3	78.18	79.77	23	23	0	0	0	0	0	5	
	馬頭小川	3	89.42	89.03	18	19	0	0	1	0	1	0		鹿沼	4	75.00	78.06	62	61	0	0	1	2	-1	1	
第3Aグループ	高根沢	3	66.70	79.46	16	16	0	0	0	0	0	0	第8グループ	今市	4	90.85	90.81	42	41	0	0	1	2	-1	0	
	宇都宮	4	76.60	74.19	91	91	0	0	2	2	0	0		鹿沼東	4	91.57	88.63	41	42	1	0	3	2	1	3	
	宇都宮西	4	93.05	92.79	65	70	1	0	8	3	5	0		栗野西方	4	72.91	80.83	12	12	0	0	0	0	0	1	
	宇都宮北	4	72.49	79.91	46	45	0	0	2	3	-1	0		鹿沼中央	4	84.62	88.23	28	26	1	0	1	3	-2	2	
	宇都宮90	3	82.70	86.08	39	40	0	0	2	1	1	3		今市きぬ	4	92.24	90.45	27	29	0	0	3	1	2	1	
第3Bグループ	宇都宮北陽	4	81.09	85.94	30	35	0	0	6	1	5	3	第9グループ	足利	3	56.45	67.18	33	35	0	0	4	2	2	0	
	宇都宮東	4	93.96	95.45	94	97	0	0	3	0	3	0		足利東	3	75.15	75.91	55	57	1	0	3	1	2	8	
	宇都宮南	4	79.62	86.74	43	45	0	0	3	1	2	0		足利西	4	90.00	80.07	15	15	0	0	0	0	0	0	
	宇都宮東陽	4	78.50	78.26	40	42	0	0	3	1	2	0		足利利せ	4	95.90	97.03	31	31	0	0	0	0	0	0	
第4グループ	宇都宮南陽	4	76.47	81.87	16	17	0	0	2	1	1	3	佐野	3	71.00	84.39	62	67	0	0	5	0	5	0		
	真岡	4	86.45	84.52	51	54	0	0	5	2	3	0	葛生	4	85.60	89.08	31	33	0	0	5	3	2	0		
	益子	4	80.60	88.26	26	26	0	0	1	1	0	0	田沼	4	83.76	89.45	38	39	0	0	1	0	1	0		
	真岡西	4	91.19	92.66	35	36	1	0	3	2	1	5	佐野東	4	85.23	90.29	22	22	0	0	0	0	0	0		
	しもつけ	4	88.80	89.27	31	30	0	0	2	3	-1	6	岩舟	4	77.00	76.90	21	20	0	0	0	1	-1	1		
												50RC		80.87	84.38	1663	1690	5	0	80	53	27	68			

文庫通信 (306号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の「ロータリー情報」より

- ◎「元気なクラブになるために」 桑原 茂 2012 10p (D.2550地区大会記念誌)
- ◎「元気なクラブになるために」 小船井修一 2012 14p (D.2550地区大会記録)
- ◎「ロータリーがライラに期待するもの」 深川 純一 2012 6p (第34回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎「品格のあるスマートなクラブ その1-3」 深川 純一 2012 3p (純ちゃんのコーナーPartⅡ)
- ◎「全国ロータリー・コーディネーターセミナー抄録」 2012 6p (D.2500月信)
- ◎「12月ロータリー家族月間について」 菅野多利雄 2012 1p (D.2520月信)
- ◎「ロータリー財団のあらまし」 1 ロータリー財団の標語、使命、6つの重点分野
2 わかりやすいロータリー財団モデル
3 新しいロータリー財団 2012 3p (D.2650)
(わたし達のロータリー財団[わかりやすい財団テキスト])

- ◎「世界からポリオの脅威を救うのは“あなた”です!!」 2012 7p (D.2650) [上記申込先:ロータリー文庫] [申込先:D.2650 FAX(075)343-2651]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

彼は精神的境地の確率を、シカゴクラブで行なおうと
していた「話し合い運動」を
支柱とする「精神的相互扶
助」の倫理的根拠と考え…

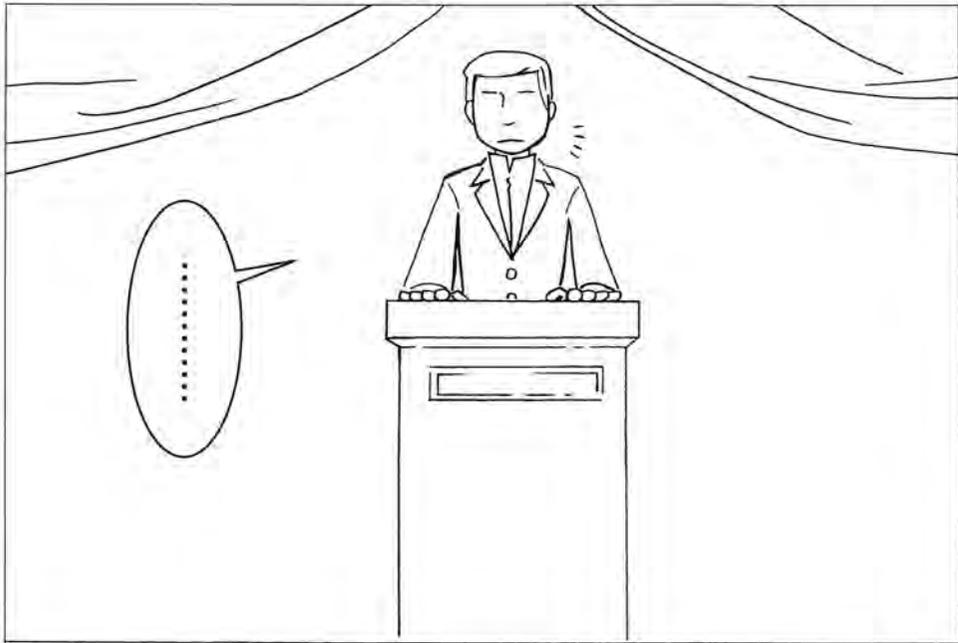


これを相手の身になって考える「奉仕
概念」と一致するものと考えました。

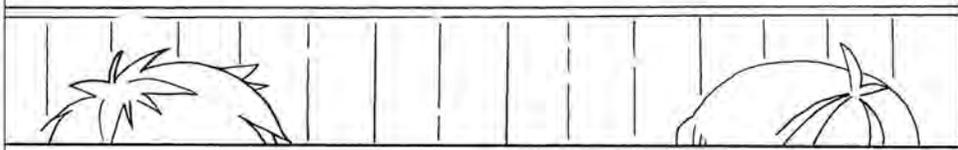


初期ロータリーを顧みて

原作：佐古 亮尊(さこ りょうそん)
監修：鈴木 宏(すずき ひろし)



その考え方を日常実践の場
で企業経営者の心に訴える
かたちで、どう表現すれば
良いか考え続けました。



「The profits most who serves best.」
(奉仕に徹するものに最大の功德あり。)

……どうも標語を導き出しました。



その後、ミネアポリス
ロータリー・クラブの初
代会長のフランク・B・
コリンズは壇上で…



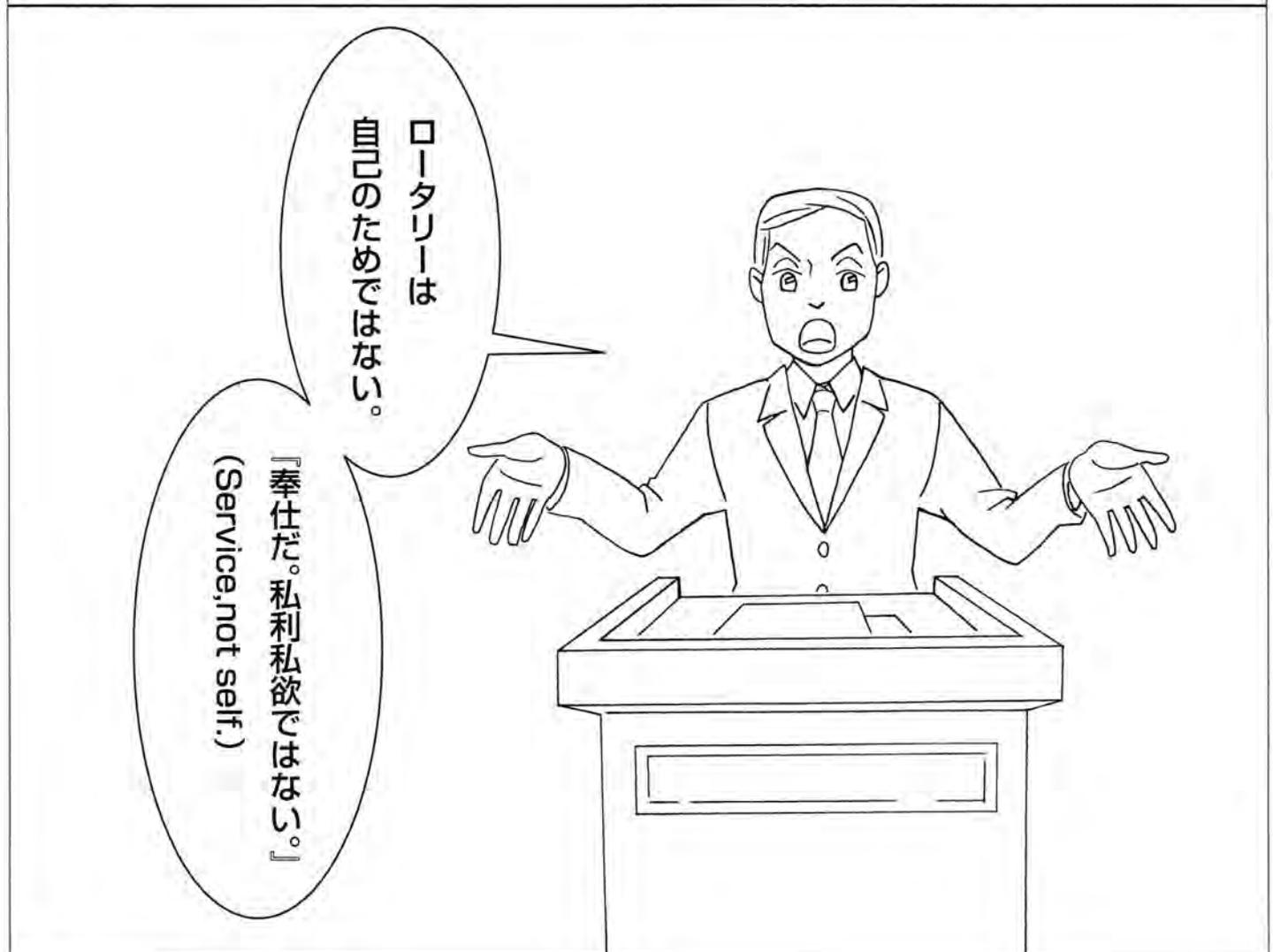
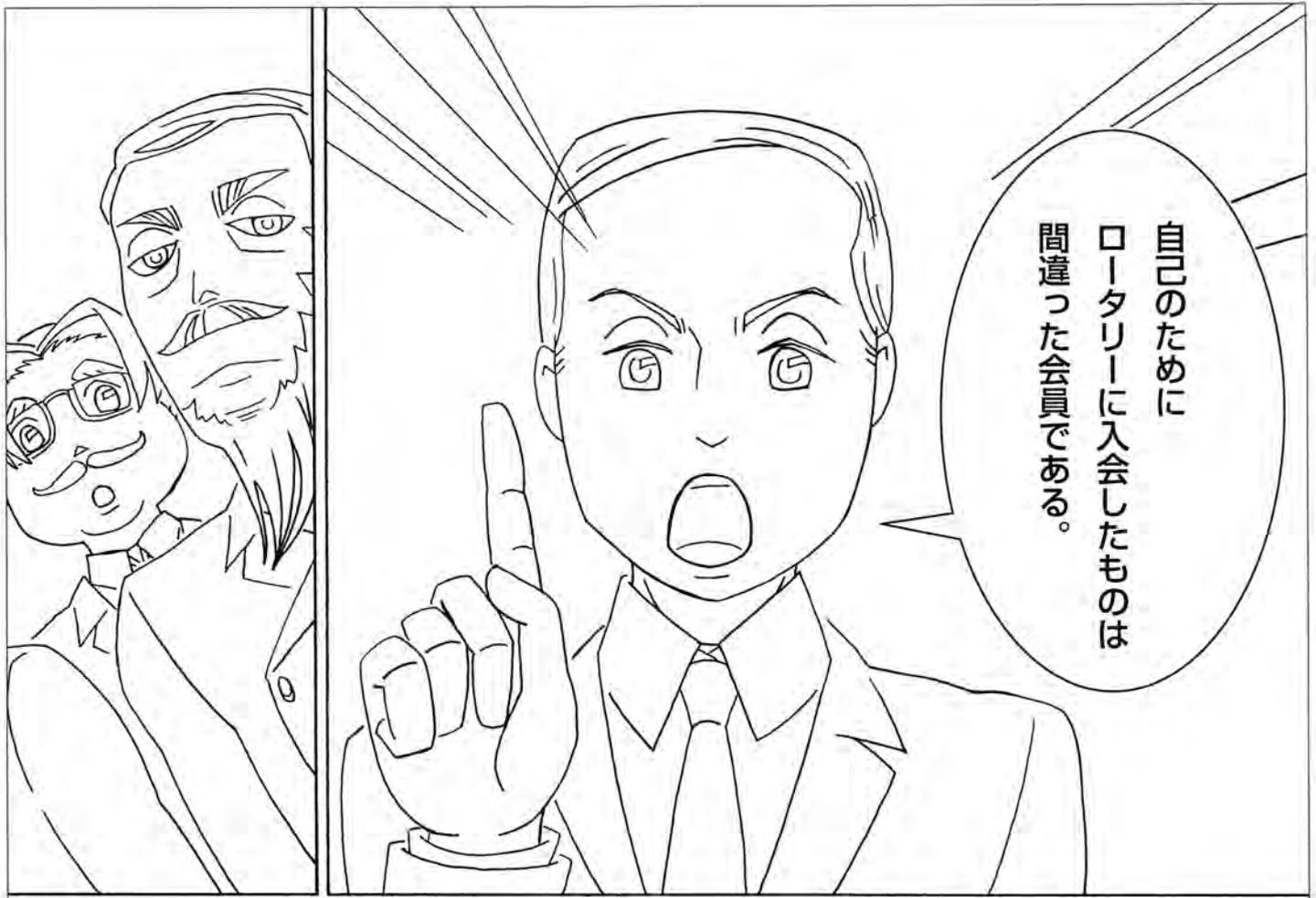
こうしてロータリー宣言
の最後にこの標語が加え
られることになりました。



ロータリー・クラブ
組織の中において成すべき
ことが一つある。

そしてそれは
直ちに行動に起こす
ことである。







同時に二つの標語が生まれることになりました。



ロータリーは、良質な職業人が自己研鑽を遂げ、もって利己と利他とを調和させる人生哲学であり、始めに「自己」があり、その自己を指導する理念としてサービス「奉仕」が考えられたのだから、not self (自己滅却)ではなく、above self (超越)でなければならぬという議論が起りました。

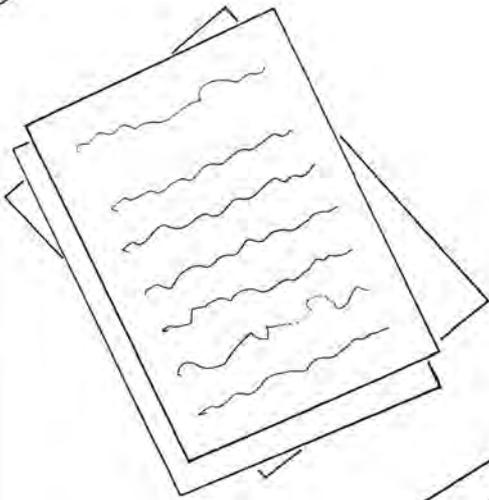
この議論にフレデリック・シェルドンは、自分の実践倫理的立場からabove selfを支持し……



一九三三年以来、Service above self (自己研鑽の奉仕) 和訳「超我の奉仕」となりました。

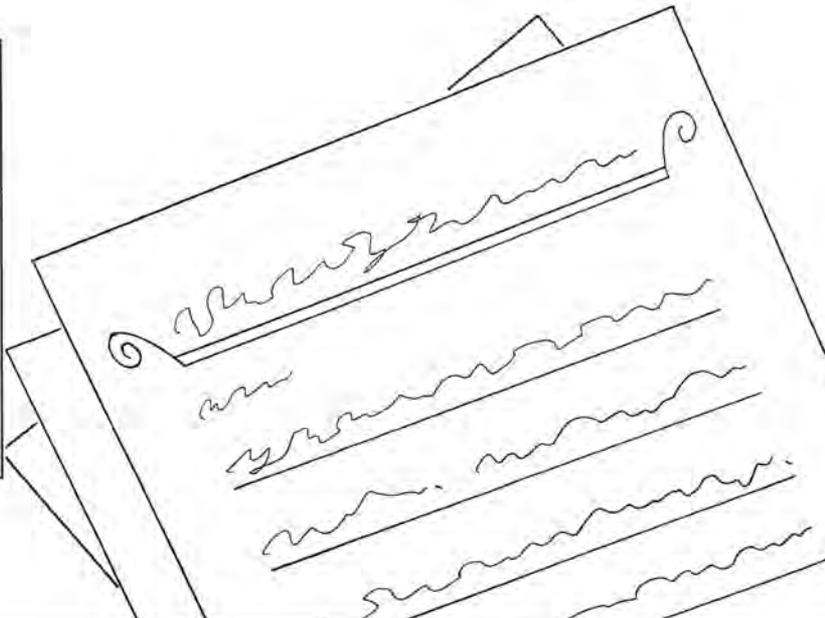
その後国際ロータリーはHe profits……が「奉仕を餌にして、儲けを得ようとするものである」というような誤解を招くとして、むしろService selfの方を全面に立っているようにすが、

一九三三年に採択された決議三十四号の中にはこうあります。



ロータリーの本体を見通したものがService above self. である。

その実践原理がHe profits most who serves best. であることがよくわかる。



ボールは…

利己と利他の調和という実質的
概念を実現するために毎週一回
の定例会に楽しく集まり…

世俗の倫理から解放されて、
その親睦の中で警戒心なく
異業種の知恵が交換され

その考え方がロータ
リアンの視野を広げ
思索の実を深め…

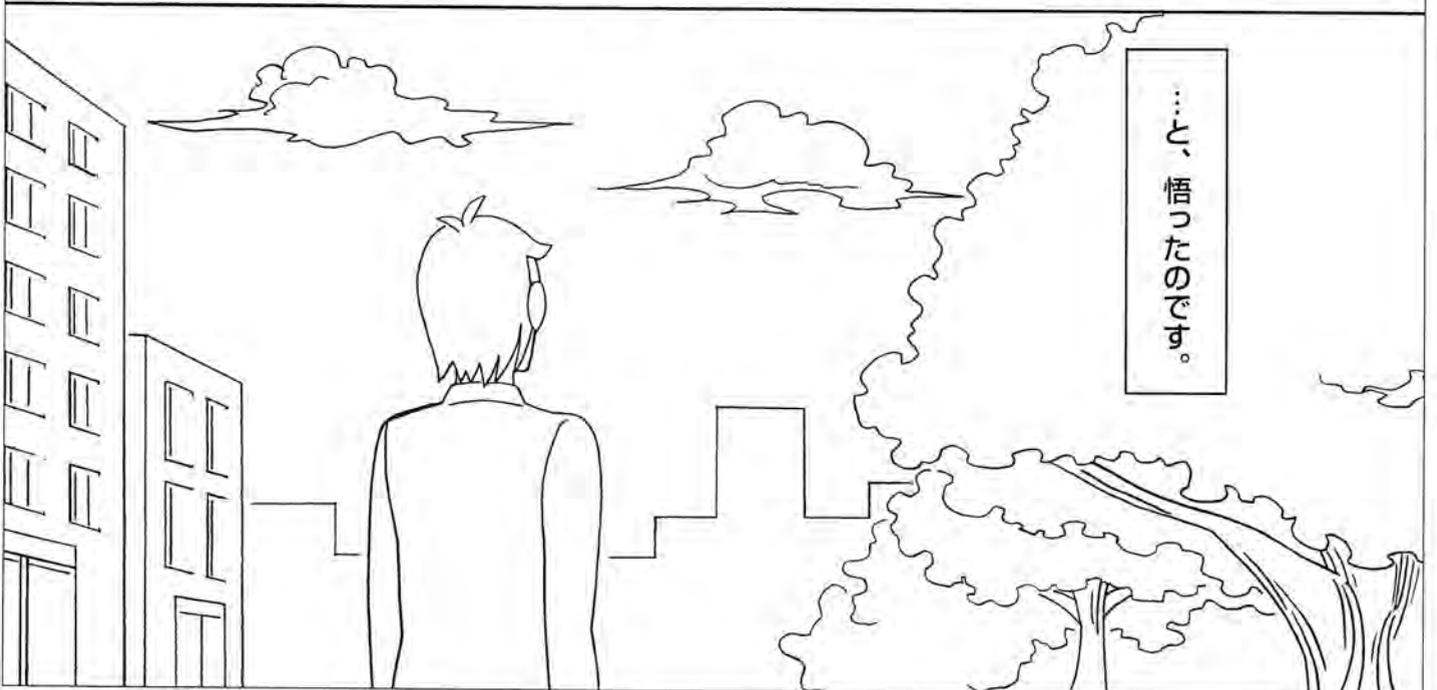


利己と利他の調和が見えてくれば利潤を獲得しながら、そのセールスマンシップの中に

やがて利己と利他の調和が見えてくるようになるのではないか？

社会のすべての人達の夢を実現する明るい構想が、小さくとも一隅を照らしていくことになるのではないか？

…と、悟ったのです。





ポールは来し方を振り返り、



まず私利私欲の追求を先とし肩と肩とを寄せ合う「親睦」を考えました。

しかし、私利私利の追求といっても社会的責任を免れるものではありません。

ポールは一体どうするつもりなんだい？

そうだな…

「利」と利他の調和を
図らなければならぬと
考えている。

この精神世界が
「奉仕」という
ことではないか。

だとすると
「ロータリーは親睦と
奉仕の調和の中に宿る」。



「ロータリー・イコール・寛容」である。

そしてその親睦の根底には
「寛容」がなければならぬ
と自覚したポールは…

…と、回答しました。

つづく